

令和3年度 事業計画【変更】

(一財)長岡花火財団

1 基本方針

当財団は、長岡花火の価値を「守り・伝え・高める」活動を展開し、市民の誇りである長岡花火を次世代につなぎ、市の魅力を高めるけん引役を担う組織として活動します。

また、大規模化した花火大会のリスク管理体制の強化をはじめ、年間を通じた長岡花火のプロモーションを積極的に推進するとともに、中期経営計画に沿った財務運用を行い、組織基盤を確立していきます。

2 2021年長岡まつり大花火大会の中止

現在、新型コロナウイルスの感染が国内外で拡大し、多くの人々の生命、健康そして生活、経済に甚大な被害を及ぼし、一方、全国における本格的なワクチン接種は始まったばかりで、感染症の収束はまだ見通せない状況です。

長岡花火は、市民はじめ、市外からの多くの来場者、さらには映像等を通じ、広く国内外の方々と一緒に、慰霊、復興、平和を祈願する花火であり、その人々を危険にさらすものであってはならず、「長岡花火によって新型コロナウイルスの感染拡大を起こしてはならない」ことを第一に考えなければなりません。

こうした中、主催者である当財団は、長岡まつり大花火大会の安全・安心な開催のあり方について、関係各位と協議を重ねながらさまざまな方策を検討してきました。共催者である長岡市との協議において、市民に安心していただける万全な感染防止対策を実施することは困難であるとの結論に至り、長岡市長の最終的な判断を求め、「市民をはじめ来場者の健康と生命を最優先に考え、昨年につき、長岡まつり大花火大会を中止せざるを得ない。」という市長の判断に従うこととしました。

「慰霊、復興、平和への祈り」の思いを持つ長岡花火の歴史・意義・伝統、そして、長岡花火を楽しみにし、心の支えにもしている多くの市民、全国の長岡花火ファン、さらには、花火大会を支えてくださる各花火スポンサーの思いを考えると、まさに苦渋の判断となりました。

3 令和3年度の取り組み

(1) 「思いをつなぐ長岡花火」の打ち上げ

花火大会が中止となったとはいえ、幾多の災害を乗り越えてきた「慰霊と復興、平和への祈り」という長岡花火の本旨は失ってはならないものであり、今般のコロナウイルスという大きな災厄において、早期終息を祈願することも意義あることと考えます。

そこで、長岡まつり期間中の8月1日、2日、3日において、「慰霊、復興、平和の花火」及び「新型コロナウイルス感染症犠牲者への慰霊と早期終息を祈願する花火」の打ち上げを実施します。

(2) 長岡の誇りを伝える活動

「道の駅ながおか花火館」を市民の誇り「長岡花火」を伝承する拠点と位置づけ、市民はじめ、未来を担う次世代が、「長岡花火」への理解をより深めながら、今以上に長岡に「誇り・愛着」を持てるよう活動を展開します。

また、長岡花火に関わるボランティアの育成にも取り組みます。

(3) 長岡花火ブランドの全国・世界発信

長岡花火ブランドの価値を高め、広めるプロモーション活動を国内外問わず積極的に実施します。また、年間をとおして「花火のまち・長岡」を感じ、訪れてもらえるよう各種事業に取り組みます。

また、花火大会中止に伴い、3年ぶりとなる来年の花火大会に向け、今年の財団ビジョンを再設定し、それに基づく様々な活動に取り組みます。

(4) 組織力の強化

長岡花火を応援する企業・団体との連携をさらに深め、新たな財源確保や財政負担の軽減を図ります。また、優れた人材の養成を図り、組織の継続性や安定的な組織運営を目指します。

4 主な事業計画（花火大会中止に伴う変更）

◆「想いをつなぐ長岡花火」の打ち上げ

8月1日（日）22:30～

- ・打上場所：信濃川河川敷（長岡地域）
- ・「慰霊の花火・白菊」（10号3発）

8月2日（月）、3日（火）19:30～

- ・打上場所：信濃川河川敷（長岡地域）、各支所地域（1日5地域ずつ）
- ・「慰霊・復興・平和への祈り」
- ・「新型コロナウイルスと戦うすべての人々への感謝とエール、コロナウィルス禍からの復興と早期終息を祈願する花火」

◎密集・密接を回避するための取り組み

- ・放送局各社と連携した番組の制作、放映
- ・現地で観る場合は、ソーシャルディスタンスを確保して観覧することを促すなど、密状態を回避する広報の実施

※打上場所や地域事情等により、規模・内容が変更。

◆次年度に向けた諸課題への対策

（1）感染症対策の検討（感染症対策ガイドラインに則った大会運営）

- ・身体的距離の確保
（対人距離の確保や区画当たりの人数制限を施した観覧席の設置ほか）
- ・密集の回避
（無料席の有料化や安全な移動動線の確保と誘導員配置ほか）
- ・入退場やエリア内、及び大会前後の行動管理
（飲食や大声の制限、手指消毒の徹底、大会前後の感染防止注意喚起ほか）
- ・連絡先の把握
（無料席の有料観覧席化による個人の把握、接触確認アプリの活用など）

（2）運営方法等の変更検討

- ・感染症の状況に応じて、チケット販売対象者の限定や花火プログラムの規模、時間の縮小など、様々な形式を検討。

（3）安全対策の徹底

- ・感染症対策を踏まえ、警備体制や資器材配置等を再精査し、安全・安心、かつ、効率的な警備の実施。

（4）迷惑駐車対策

- ・ウイルス禍に伴うマイカー来場者の増加を踏まえ、「長岡花火駐車場シェアプロジェクト」を拡充。

◆長岡の誇りを伝える活動

(1) 学校等への訪問活動、米百俵未来塾での啓蒙活動の充実

- ・長岡花火の歴史・想いを子どもたちへ伝えるための学校への訪問活動。
- ・長岡市米百俵財団主催の「米百俵未来塾」に参画し、長岡花火をとおして、ふるさと長岡に誇りと自信を持てる人材を育成。
- ・企業・団体等、成人向けの講演、講義を積極的に実施。

(2) 長岡花火に関するボランティア活動を通じた人材育成

- ・長岡花火の普及・啓発活動やフェニックス花火募金を通じ、長岡花火に関わるボランティア育成(国際ボランティア協会、長岡青年会議所等との連携等)

◆長岡花火ブランドの発信

(1) 長岡米百俵フェス(3回目)

- ・音楽フェスとコラボした長岡花火の打ち上げ。
- ・時期：令和3年9月17日、18日、19日
- ・会場：東山ファミリーランド

(2) 長岡花火ローズファンタジー(新規)

- ・春の長岡花火の打ち上げ。国営越後丘陵公園の実施により、年間を通じた長岡花火のプロモーションを図る(令和3年度は10月に延期)。
- ・時期：令和3年10月30日 会場：国営越後丘陵公園

(3) 長岡花火ウインターファンタジー(5回目)

- ・冬の長岡花火の打ち上げ。国営越後丘陵公園と連携し、観光資源として定着を図る。
- ・時期：令和3年12月上旬 会場：国営越後丘陵公園

(4) 長岡雪しか祭り

- ・長岡雪しか祭り実行委員会に参画。長岡花火「雪花火」の打ち上げ。
- ・時期：令和4年2月中旬 会場：千秋が原ふるさとの森

(5) ホノルルフェスティバルにおける長岡花火の打ち上げ

- ・姉妹都市ホノルル市のホノルルフェスティバルにおける長岡花火の打ち上げ。
- ・2022年は姉妹都市締結10周年
- ・時期：令和4年3月中旬 ※打ち上げはフェスティバル最終日。
- ・会場：ハワイ州ホノルル市ワイキキビーチ

(6) 知的財産権の利活用および制度化に向けた検討

- ・「長岡花火」の商標権取得を戦略的に推進（長岡花火の知名度向上、公式グッズの製作）。
- ・商標権の意義を広める活動を実施し、地域全体で長岡花火ブランドを守り、高める気運を醸成。

(7) 若年層への訴求

- ・若年層の来場率減少や総体的な人口減が進む中、永続的に花火大会を実施していくため、若い世代に向けたプロモーション活動を戦略的に展開。

(8) 長岡花火のさらなる深化

- ・変化する社会環境にあわせ、打ち上げにかかる技術面の課題を専門家（産官学）等と共有し、将来に向けた新たな花火の研究開発を進め、他の花火大会との差別化と長岡花火の更なる発展をめざす。

◆組織力の強化

(1) 保険加入（事故リスクへの対応）の検討

- ・役員賠償責任保険団体制度
- ・煙火消費が原因による人的・物的損害に対応する煙火消費保険（対人・対物 1事故8億円 免責10万円）

(2) 自主財源の確保、財政負担の軽減

- ・「長岡花火オフィシャルパートナー協定」の締結企業を拡充し、サービスの享受により財政負担を軽減。

(3) 人材の育成

- ・財団の健全な運営の継続性を図るため、必要な人材の確保及び育成。

第1次補正予算書(収支)

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[19,000]	[0]	[19,000]
基本財産受取利息	19,000	0	19,000
事業収入	[407,595,000]	[△ 374,095,000]	[33,500,000]
観覧席販売収入	367,800,000	△ 367,800,000	0
駐車場協力金収入	11,375,000	△ 11,375,000	0
各種販売収入	7,770,000	5,730,000	13,500,000
各種賦課金収入	650,000	△ 650,000	0
業務委託料収入	20,000,000	0	20,000,000
補助金等収入	[157,470,000]	[△ 88,450,000]	[69,020,000]
長岡市派遣職員人件費補助金収入	57,470,000	0	57,470,000
その他補助金収入	100,000,000	△ 88,450,000	11,550,000
寄付金収入	[680,000]	[△ 410,000]	[270,000]
寄付金収入	680,000	△ 410,000	270,000
協賛金収入	[234,460,000]	[△ 207,960,000]	[26,500,000]
現金協賛金収入	38,800,000	△ 38,800,000	0
広告協賛金収入	800,000	△ 800,000	0
花火協賛金収入	155,360,000	△ 155,360,000	0
フェニックス花火協賛金収入	25,000,000	△ 25,000,000	0
その他協賛金収入	14,500,000	12,000,000	26,500,000
雑収入	[456,000]	[△ 274,000]	[182,000]
受取利息収入	3,000	△ 1,000	2,000
雑収入	453,000	△ 273,000	180,000
事業活動収入計	800,680,000	△ 671,189,000	129,491,000
2. 事業活動支出			
大会運営事業費支出	[665,731,000]	[△ 616,244,000]	[49,487,000]
花火打上事業費支出	183,863,000	△ 169,963,000	13,900,000
会場設営事業費支出	264,202,000	△ 236,218,000	27,984,000
安全対策事業費支出	98,278,000	△ 96,860,000	1,418,000
交通対策事業費支出	41,600,000	△ 41,600,000	0
観覧席販売事業費支出	48,574,000	△ 46,144,000	2,430,000
寄付懇請事業費支出	10,382,000	△ 6,627,000	3,755,000
受入体制強化事業費支出	18,832,000	△ 18,832,000	0
普及啓発事業費支出	[2,400,000]	[△ 2,400,000]	[0]
伝承活動事業費支出	2,400,000	△ 2,400,000	0
ブランド発信事業費支出	[69,425,000]	[△ 20,419,000]	[49,006,000]
情報発信事業費支出	23,976,000	△ 16,208,000	7,768,000
海外発信事業費支出	5,860,000	0	5,860,000
情報発信拠点事業費支出	10,940,000	△ 8,940,000	2,000,000
長岡花火打上プロモーション事業費支出	28,649,000	4,729,000	33,378,000
その他プロモーション事業費支出	[4,248,000]	[△ 1,468,000]	[2,780,000]

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
その他プロモーション事業費支出	4,248,000	△ 1,468,000	2,780,000
管理費支出	[99,245,000]	[△ 10,912,000]	[88,333,000]
人件費支出	75,600,000	△ 2,570,000	73,030,000
施設費支出	12,819,000	△ 2,347,000	10,472,000
その他管理費支出	10,826,000	△ 5,995,000	4,831,000
事業活動支出計	841,049,000	△ 651,443,000	189,606,000
事業活動収支差額	△ 40,369,000	△ 19,746,000	△ 60,115,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	[0]	[12,964,498]	[12,964,498]
災害等対策基金特定資産取崩収入	0	12,964,498	12,964,498
投資活動収入計	0	12,964,498	12,964,498
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	12,964,498	12,964,498
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△ 40,369,000	△ 6,781,502	△ 47,150,502
前期繰越収支差額	44,016,000	3,134,585	47,150,585
次期繰越収支差額	3,647,000	△ 3,646,917	83